

# COTOHA音声認識

音声認識APIは以下の4つのAPIで構成されます。

なお、Developers環境アカウントでは、本APIをご利用いただけませんのでご了承ください。

- ファイル音声認識  
短時間の音声ファイルの音声をテキストに変換するAPIです。
- ストリーミング音声認識  
長時間の音声ファイルの音声やマイクからの入力などのストリーミング音声をテキストに変換するAPIです。
- 音声認識ユーザ辞書更新  
音声認識APIの語彙に含まれていない単語を登録するAPIです。（日本語モデルのみ）  
辞書は毎時0分時点のデータが反映されます。実際にデータが反映されるまでには、一定の時間を要します。
- 音声認識ユーザ辞書クリア  
登録された単語のクリアを行うAPIです。（日本語モデルのみ）  
辞書は毎時0分時点のデータが反映されます。実際にデータが反映されるまでには、一定の時間を要します。

## ファイル音声認識

ファイル音声認識では、短時間の音声ファイルの音声を認識してテキストに変換します。

対象は60秒以内の音声ファイルとなります。60秒を超える場合は、ストリーミング音声認識を利用してください。

## HTTPリクエスト

```
POST <API Base URL>/asr/v1/speech_recognition/<ASR Model id>
```

「ASR Model id」は音声認識に用いるモデルを識別するIDです。モデル一覧を参照して、適切なモデルを選択してください。

## リクエストヘッダ

リクエストはマルチパートで記述します。マルチパートに用いる境界文字列を定めて、リクエストヘッダのboundaryで示してください。

キー名	説明
Content-Type	multipart/form-data; boundary=<境界文字列>
Authorization	Bearer [Access Token]

# リクエストボディ

マルチパートの各パートに設定するデータの内容および構造は、「パート種別」毎に規定します。「パート種別」は以下のものを使用します。なお、リクエスト内のパート種別は「Content-Disposition」のnameパラメータで設定します。

ボディのパートの順番は、必ず、パラメータパート、音声データパート、コマンドパートの順で設定してください。

パート種別	必須	name	Content-Type
パラメータパート	必須	parameter	application/json; charset=UTF-8
音声データパート	必須	audio	application/octet-stream
コマンドパート	必須	command	application/json; charset=UTF-8

## パラメータパート

音声認識開始要求を行います。詳細は「ストリーミング音声認識 - 音声認識開始要求」の項を参照してください。

## 音声データパート

音声データは下記の形式に変換をして、バイナリを音声データパートとしてください。

フォーマット	サンプリングレート[Hz]	分解能[bit]	チャンネル	バイト順
Linear PCM	モデルの帯域(8000または16000)以上	16	モノラル	リトルエンディアン

## コマンドパート

音声認識停止要求を行います。詳細は「ストリーミング音声認識 - 音声認識停止要求」の項を参照してください。

# リクエストサンプル

以下にリクエストのサンプルを示します。

## HTTPヘッダ

```
Content-Type: multipart/form-data; boundary=<境界文字列>
Authorization: Bearer <Access Token>
```

## HTTPボディ

```
--<境界文字列>
Content-Disposition: form-data; name="parameter"
Content-Type: application/json

{
  "msg":
  {
    "msgname": "start"
  },
  "param":
  {
    "baseParam.samplingRate": 16000,
    "recognizeParameter.domainId": "<ASR Domain id>"
    "recognizeParameter.enableContinuous": true
  }
}
--<境界文字列>
Content-Disposition: form-data; name="audio"
Content-Type: application/octet-stream

<バイナリ音声データ>
--<境界文字列>
Content-Disposition: form-data; name="command"
Content-Type: application/json

{
  "msg": {
    "msgname": "stop"
  }
}
--<境界文字列>--
```

## レスポンス

詳細は「ストリーミング音声認識 - レスポンス」の項を参照してください。

## レスポンスサンプル

以下にレスポンスの例を示します。

```
[ {
  "msg" : {
    "msgname" : "started",
    "uniqueId" : "4d97031a-cfa9-4d66-968a-be708644a893"
  }
}, {
  "msg" : {
    "msgname" : "speechStartDetected",
```

```
    "uniqueId" : "4d97031a-cfa9-4d66-968a-be708644a893"
  },
  "timeinfo" : {
    "startDetectTime" : 0
  }
}, {
  "msg" : {
    "msgname" : "speechEndDetected",
    "uniqueId" : "4d97031a-cfa9-4d66-968a-be708644a893"
  },
  "timeinfo" : {
    "endDetectTime" : 3460
  }
}, {
  "msg" : {
    "msgname" : "recognized",
    "uniqueId" : "4d97031a-cfa9-4d66-968a-be708644a893"
  },
  "result" : {
    "type" : 1,
    "sentence" : [ {
      "surface" : "これ は テスト 用 の 音声ファイル です",
      "score" : 0.975848,
      "startTime" : 0.0,
      "endTime" : 3.46
    } ]
  }
}, {
  "msg" : {
    "msgname" : "recognized",
    "uniqueId" : "4d97031a-cfa9-4d66-968a-be708644a893"
  },
  "result" : {
    "type" : 2,
    "sentence" : [ ]
  }
}, {
  "msg" : {
    "msgname" : "completed",
    "uniqueId" : "4d97031a-cfa9-4d66-968a-be708644a893",
    "cause" : "STOP"
  }
} ]
```

## ストリーミング音声認識

---

ストリーミング音声認識では、マイクからの入力などのストリーミング音声や長時間の音声ファイルの音声を認識してテキストに変換します。音声の全体の長さは最長3,000秒です。3,000秒を超える音声は、3,000秒以下に分割して、それぞれストリーミング音声認識を実行してください。

## 要求の種類

ストリーミング音声認識では、以下の4種類の要求を利用します。

- 音声認識開始要求
- 音声認識データ送信
- 音声認識停止要求
- 音声認識キャンセル要求

標準的な要求の流れは以下の通りです。

1. 音声認識開始要求
2. 音声データ送信（複数回）
3. 音声認識停止要求

## 音声認識開始要求

音声認識クライアントから音声認識機能を利用する際に、音声認識クライアントが最初に音声認識APIサーバへ要求するリクエストです。本リクエストで音声認識のパラメータ設定が必要です。

## HTTPリクエスト

```
POST <API Base URL>/asr/v1/speech_recognition/<ASR Model id>
```

## リクエストヘッダ

キー名	説明
Connection	Keep-Alive
Content-Type	application/json; charset=UTF-8
Authorization	Bearer [Access Token]

## リクエストボディ

キー名		説明	設定可能範囲
msg			
	msgname	メッセージ種別	start
param			
	baseParam.samplingRate	音声データのサンプリングレート	モデルの帯域(8000, 16000)以上の値を入力
	recognizeParameter.domainId	[ASR Domain id]	8桁の半角英数字
	recognizeParameter.enableContinuous	連続認識機能有効設定	true

## リクエストサンプル

以下にリクエストのサンプルを示します。

### HTTPヘッダ

```
Connection: Keep-Alive
Content-Type: application/json; charset=UTF-8
Authorization: Bearer <Access Token>
```

### HTTPボディ

```
{
  "msg": {
    "msgname": "start"
  },
  "param": {
    "baseParam.samplingRate": 16000,
    "recognizeParameter.domainId": "<ASR Domain id>",
    "recognizeParameter.enableContinuous": true
  }
}
```

## 音声認識データ送信

音声認識を行うデータを音声認識APIサーバへ送信するリクエストです。音声認識データ送信のリクエスト間隔は240ミリ秒[ms]です。音声認識データ送信のレスポンスを待ち、エラーがないことを確認して次のデータを送信してください。なお、最初の音声認識データ送信は音声認識開始要求のレスポンスを受けてから1秒以内に行なってください。

## HTTPリクエスト

POST <API Base URL>/asr/v1/speech\_recognition/<ASR Model id>

## リクエストヘッダ

キー名	説明
Connection	Keep-Alive
Content-Type	application/octet-stream
Unique-Id	音声認識開始要求のレスポンスヘッダで返されたUniqueID
Authorization	Bearer [Access Token]
Cookie	- token（リクエストの順番を識別するためのユニークな文字列。直近のレスポンスで受け取ったtokenを設定します。） - GCLB（音声認識のシーケンスごとに設定されるユニークな文字列。音声認識開始要求のレスポンスで受け取ったGCLBを設定します。）

## リクエストボディ

音声データは下記の形式に変換をして、バイナリをリクエストボディとしてください。

フォーマット	サンプリングレート[Hz]	分解能[bit]	チャネル	バイト順	音声データ長[ms]
Linear PCM	モデルの帯域(8000または16000)以上	16	モノラル	リトルエンディアン	240※

すなわち、1回のリクエストボディのサイズは8kHzのモデルの場合は3840バイト、16kHzのモデルの場合は7680バイトとなります。

※ただし、音声認識データ送信の最後のリクエストに限り、240ミリ秒[ms]未満のデータも可

## リクエストサンプル

以下にリクエストのサンプルを示します。

### HTTPヘッダ

```
Connection: Keep-Alive
Content-Type: application/octet-stream
Authorization: Bearer <Access Token>
Cookie: <直近のレスポンスヘッダで返されたCookie>
```

### HTTPボディ

<バイナリ音声データ>

# 音声認識停止要求

音声認識クライアントから音声認識処理の停止要求するリクエストです。音声認識APIサーバは全ての音声認識が完了したのち、200(OK)を返します。なお、音声認識停止要求は音声認識データ送信の最後のレスポンスを受けてから、1秒以内に行なってください。

## HTTPリクエスト

```
POST <API Base URL>/asr/v1/speech_recognition/<ASR Model id>
```

## リクエストヘッダ

キー名	説明
Connection	Keep-Alive
Content-Type	application/json; charset=UTF-8
Unique-Id	音声認識開始要求のレスポンスヘッダで返されたUniqueID
Authorization	Bearer [Access Token]
Cookie	- token（リクエストの順番を識別するためのユニークな文字列。直近のレスポンスで受け取ったtokenを設定します。） - GCLB（音声認識のシーケンスごとに設定されるユニークな文字列。音声認識開始要求のレスポンスで受け取ったGCLBを設定します。）

## リクエストボディ

キー名		説明	設定可能範囲
msg			
	msgname	メッセージ種別	stop

## リクエストサンプル

以下にリクエストのサンプルを示します。

### HTTPヘッダ

```
Connection: Keep-Alive
Content-Type: application/json; charset=UTF-8
Authorization: Bearer <Access Token>
Cookie: <直近のレスポンスヘッダで返されたCookie>
```

### HTTPボディ



```
{
  "msg": {
    "msgname": "stop"
  }
}
```

## 音声認識キャンセル要求

音声認識クライアントから音声認識処理のキャンセルを要求するリクエストです。キャンセルでは送信済み音声データの認識処理は行わず、200(OK)を返します。なお、音声認識キャンセル要求は音声認識データ送信の最後のレスポンスを受けてから、1秒以内に行なってください。

## HTTPリクエスト

```
POST <API Base URL>/asr/v1/speech_recognition/<ASR Model id>
```

## リクエストヘッダ

キー名	説明
Connection	Keep-Alive
Content-Type	application/json; charset=UTF-8
Unique-Id	音声認識開始要求のレスポンスヘッダで返されたUniqueID
Authorization	Bearer [Access Token]
Cookie	- token（リクエストの順番を識別するためのユニークな文字列。直近のレスポンスで受け取ったtokenを設定します。） - GCLB（音声認識のシーケンスごとに設定されるユニークな文字列。音声認識開始要求のレスポンスで受け取ったGCLBを設定します。）

## リクエストボディ

キー名		説明	設定可能範囲
msg			
	msgname	メッセージ種別	cancel

## リクエストサンプル

以下にリクエストのサンプルを示します。

### HTTPヘッダ

```
Connection: Keep-Alive
Content-Type: application/json; charset=UTF-8
Authorization: Bearer <Access Token>
Cookie: <直近のレスポンスヘッダで返されたCookie>
```

## HTTPボディ

```
{
  "msg": {
    "msgname": "cancel"
  }
}
```

## レスポンス

HTTPリクエストに対して、以下のサーバ応答の組み合わせからなるHTTPレスポンスが返却されます。サーバ応答が1個以上含まれる場合はHTTPステータスコード200(OK)でHTTPボディ部にJSONが含まれるHTTPレスポンスが返却されます。サーバ応答が0個の場合、HTTPステータスコード204(No Content)が返却されます。

サーバ応答の種類	msgname	備考
音声認識準備完了 応答	started	音声認識開始リクエストの応答
発話検出応答	speechStartDetected	音声データの発話開始を検出後のリクエストの応答
終話検出応答	speechEndDetected	音声データの発話終了を検出後のリクエストの応答
音声認識結果応答	recognized	音声認識結果
音声認識終了応答	completed	音声認識が終了、または音声認識処理中にエラーが発生

全てのサーバ応答に「msgname」と「uniqueId」が含まれます。「msgname」はサーバ応答の種類を表し、「uniqueId」は音声認識ごとにユニークな識別子です。

## 音声認識準備完了応答

音声認識開始要求に対して、音声認識APIサーバから音声認識クライアントに準備の完了を通知するメッセージです。

## レスポンスヘッダ

キー名	説明
Content-Type	application/json; charset=UTF-8
Set-Cookie	- token（リクエストの順番を識別するためのユニークな文字列） - GCLB（音声認識のシーケンスごとに設定されるユニークな文字列）

## レスポンスボディ

キー名	説明	備考
msg		
msgname	メッセージ種別	started
uniqueId	音声認識毎にユニークな識別子	音声認識データ送信や音声認識停止要求・音声認識キャンセル要求に必要なパラメータ

## レスポンスサンプル

```
[
  {
    "msg": {
      "msgname": "started",
      "uniqueId": "3bfbe5de-eee7-4824-a661-3750d8cb9328"
    }
  }
]
```

## 発話検出応答

転送された音声データから発話を検出した際に返されるメッセージです。

## レスポンスヘッダ

キー名	説明
Content-Type	application/json; charset=UTF-8
Set-Cookie	token（リクエストの順番を識別するためのユニークな文字列）

## レスポンスボディ

キー名		説明	備考
msg			
	msgname	メッセージ種別	speechStartDetected
	uniqueId	音声認識毎にユニークな識別子	音声認識APIサーバが付与した識別子
timeinfo			
	startDetectTime	発話検出時間[ms]	音声データの先頭から発話検出までの時間

## レスポンスサンプル

```
[ {
  "msg": {
    "msgname": "speechStartDetected",
    "uniqueId": "3bfbe5de-eee7-4824-a661-3750d8cb9328"
  },
  "timeinfo": {
    "startDetectTime": 0
  }
}]
```

## 終話検出応答

転送された音声データで終話（発話の終了）を検出した際に返されるメッセージです。

## レスポンスヘッダ

キー名	説明
Content-Type	application/json; charset=UTF-8
Set-Cookie	token（リクエストの順番を識別するためのユニークな文字列）

## レスポンスボディ

キー名		説明	備考
msg			
	msgname	メッセージ種別	speechEndDetected
	uniqueId	音声認識毎にユニークな識別子	音声認識APIサーバが付与した識別子
timeinfo			
	endDetectTime	終話検出時間[ms]	音声データの先頭から終話検出までの時間

## レスポンスサンプル

```
[{
  "msg": {
    "msgname": "speechEndDetected",
    "uniqueId": "4b96875f-2137-48ed-8b49-1e20483a7c86"
  },
  "timeinfo": {
    "endDetectTime": 3200
  }
}]
```

## 音声認識結果応答

音声認識の結果を音声認識APIサーバから音声認識クライアントに送信するためのメッセージです。

## レスポンスヘッダ

キー名	説明
Content-Type	application/json; charset=UTF-8
Set-Cookie	token（リクエストの順番を識別するためのユニークな文字列）

## レスポンスボディ

キー名		説明	備考
msg			
	msgname	メッセージ種別	recognized
	uniqueId	音声認識毎にユニークな識別子	音声認識APIサーバが付与した識別子
result			
	type	認識結果タイプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>1：認識結果（サーバ終話検知）</li> <li>2：認識結果（最終）（音声認識停止要求）</li> </ul>
	sentence		
		surface	音声認識結果テキスト
		score	スコア
		startTime	文の開始時刻[秒]
		endTime	文の終了時刻[秒]

レスポンスサンプル

```
[{
  "msg": {
    "msgname": "recognized",
    "uniqueId": "a49b39de-101f-4a58-b7a6-4b3ffbfb58bb"
  },
  "result": {
    "type": 1,
    "sentence": [ {
      "surface": "これはテスト用の音声ファイルです",
      "score": 0.830472,
      "startTime": 0.0,
      "endTime": 3.2
    } ]
  }
}]
```

音声認識終了応答

音声認識処理の終了を音声認識APIサーバから音声認識クライアント宛に送信するメッセージです。  
音声認識処理中にエラーが発生した場合も本メッセージが返されます。

レスポンスヘッダ

キー名	説明
Content-Type	application/json; charset=UTF-8
Set-Cookie	token（リクエストの順番を識別するためのユニークな文字列）

レスポンスボディ

キー名	説明	備考
msg		
msgname	メッセージ種別	completed
uniqueId	音声認識毎にユニークな識別子	音声認識APIサーバが付与した識別子
cause	停止要因	以下のいずれか <ul style="list-style-type: none"><li>STOP(音声認識停止要求)</li><li>CANCEL(音声認識キャンセル要求)</li><li>ERROR(エラー)</li></ul>
errorinfo		
code	エラーコード	
message	エラーメッセージ	
level	エラーレベル	以下のいずれか <ul style="list-style-type: none"><li>WARN</li><li>ERROR</li><li>FATAL</li></ul>
detail	エラー詳細情報	

レスポンスサンプル

```
[{
  "msg": {
    "msgname": "completed",
    "uniqueId": "4b96875f-2137-48ed-8b49-1e20483a7c86",
    "cause": "STOP"
  }
}]
```

音声認識ユーザ辞書更新（日本語モデルのみ）

音声認識クライアントからユーザ辞書更新のリクエストを要求します。ユーザ辞書は音声認識に利用するモデル毎に登録が必要です。日本語の音声認識モデルに対してのみユーザ辞書を登録することが可能です。ユーザ辞書更新により、すでに登録済みのユーザ辞書の内容は上書きされますのでご注意ください。

## HTTPリクエスト

```
POST <API Base URL>/asr/v1/speech_words/<ASR Model id>/upload?domainid=<ASR Domain id>
```

## リクエストヘッダ

リクエストはマルチパートで記述します。マルチパートに用いる境界文字列を定めて、リクエストヘッダのboundaryで示してください。

キー名	説明
Content-Type	multipart/form-data; boundary=<境界文字列>
Authorization	Bearer [Access Token]

## リクエストボディ

リクエストボディに後述の「ユーザ辞書リスト」を記載します。

パート種別	必須	name	Content-Type
ユーザ辞書リスト	必須	cascadeword	text/plain; charset=UTF-8

## 音声認識ユーザ辞書リスト

リストの各行に「単語の表記」「水平タブ（HT:0x09）」「単語の読み」を記載してください。

```
<HYOKI><HT><YOMI>
<HYOKI><HT><YOMI>
...
<HYOKI><HT><YOMI>
```

項目	説明	値の範囲	必須
[HYOKI]	表記	空文字以外	必須
[YOMI]	読み	全角カタカナ	必須

## ユーザ辞書リストサンプル



エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 エヌティティコミュニケーションズカブシキガイシヤ  
COTOHA コトハ

## リクエストサンプル(cURL)

以下にリクエストのサンプルを示します。

```
curl -H "Authorization:Bearer <Access Token>" -X POST -F cascadeword=@<音声認識ユーザ辞書リストを記載したtsvファイル> <API Base URL>/asr/v1/speech_words/<ASR Model id>/upload?domainid=<ASR Domain id>
```

## レスポンス

指定した「表記」、指定した「読み」、「M」（固定）、「スコア」が返ります。

「M」「スコア」はサーバが自動的に付与するものですので、通常は気にする必要はありません。

## レスポンスサンプル

以下にレスポンスの例を示します。

```
--<境界文字列>
Content-Type: text/plain
Content-Disposition: form-data; name="status"

code : 200
message : OK
detail : success

--<境界文字列>
Content-Type: text/plain
Content-Disposition: form-data; name="cascadeword"

エヌ・ティ・ティコミュニケーションズ株式会社 エヌティティコミュニケーションズカブシキガイシヤ
M -3.0
COTOHA コトハ M -3.0

--<境界文字列>--
```

## 音声認識ユーザ辞書クリア（日本語モデルのみ）

音声認識クライアントからユーザ辞書のクリアを要求します。ユーザ辞書は音声認識に利用するモデル毎にクリアが必要です。日本語の音声認識モデルに対してのみユーザ辞書をクリアすることが可能です。

# HTTPリクエスト

```
GET <API Base URL>/asr/v1/speech_words/<ASR Model id>/clear?domainid=<ASR Domain id>
```

## リクエストヘッダ

キー名	説明
Authorization	Bearer [Access Token]

## リクエストサンプル(cURL)

以下にリクエストのサンプルを示します。

```
curl -H "Authorization:Bearer <Access Token>" <API Base URL>/asr/v1/speech_words/<ASR Model id>/clear?domainid=<ASR Domain id>
```

## レスポンス

### レスポンスサンプル

以下にレスポンスの例を示します。

```
--<境界文字列>
Content-Type: text/plain
Content-Disposition: form-data; name="status"

code : 200
message : OK
detail : success

--<境界文字列>--
```

## モデル一覧

モデル名	ASR Model id
日本語汎用Short&Formal(16kHz)	ja-gen_sf-16
日本語汎用Talk&Free(8kHz)	ja-gen_tf-08
日本語汎用Talk&Free(16kHz)	ja-gen_tf-16
英語汎用_ネイティブShort&Formal(16kHz)	en_en-gen_sf-16
日本語通信業界向け(8kHz)	ja-mdl1_nrw-08
日本語保険業界向け(8kHz)	ja-mdl2_nrw-08

- 「Short&Formal」と「Talk&Free」に関して
  - Short&Formal：事前にある程度話す内容を考えておくことができ、比較的明瞭に発話される単発の発話クエリ音声認識に適したモデルです。（検索クエリ、一問一答型システムとの対話など）
  - Talk&Free：人間同士の自然な発話、言いよどみや言い間違いが頻出する音声認識に適したモデルです。（会議、雑談、コールセンタ、顧客対応など）
- 「8kHz」と「16kHz」に関して
  - 8kHz：電話回線を通しての音声に対してのご利用を推奨しております。
  - 16kHz：それ以外の音声に対してのご利用を推奨しております。

## エラーコード一覧

### 音声認識API - 共通

#### リクエストの内容を確認してください

以下のエラーが発生した場合は、記載された対処をした上でリクエストをやり直してください。なお、ストリーム音声認識APIにおけるエラーの場合は、音声認識のシーケンスの最初、音声認識開始要求からやり直していただきます。その際、音声認識停止要求や音声認識キャンセル要求のリクエストをする必要はありません。エラーが解決しない場合、ご契約者様お問い合わせよりお問い合わせください。

エラーコード	メッセージ	説明および対処
410	Invalid Parameter	パラメータ不正。パラメータを確認してください。
411	Invalid State	実行不能ステート。音声認識APIの呼び出し順番を確認してください。
412	Interval Too Brief	音声データの送信間隔が短すぎます。音声データの送信間隔を正しくしてください。
450	Invalid Token	リクエストトークン不正。リクエストはレスポンス受信を待ってから行ってください。
551	Recognition Timeout	発話検出または終話検出タイムアウト。音声認識に利用した音声データを確認してください。
552	Network Error	レスポンスを受けてから所定の時間内にリクエストを行なっているかを確認してください。
600	Internal Error	レスポンスを受けてから所定の時間内にリクエストを行なっているかを確認してください。
651	Session Timeout	セッションタイムアウト。APIの呼び出し順番、呼び出し間隔を確認してください。
652	Excess Of Max Voice Length	最大音声長の超過エラー。音声データ長が最大音声長を超える場合、複数回に分けて認識を行ってください。
690	External Command Execute Failed	パラメータ不正。パラメータを確認してください。

## リクエストの内容を確認し、時間をおいてやり直してください

以下のエラーが発生した場合は、記載された対処をした上でしばらく時間を置いてリクエストをやり直してください。なお、ストリーム音声認識APIにおけるエラーの場合は、音声認識のシーケンスの最初、音声認識開始要求からやり直していただきます。その際、音声認識停止要求や音声認識キャンセル要求のリクエストをする必要はありません。エラーが解決しない場合、ご契約者様お問い合わせよりお問い合わせください。

エラーコード	メッセージ	説明および対処
550	No Resource	パラメータ不正。ASR Model idが正しいか確認してください。

## お問い合わせください

以下のエラーが発生した場合は、ご契約者様お問い合わせよりお問い合わせください。

エラーコード	メッセージ
500	Internal Error
510	Out Of Memory
553	Network Timeout
601	Recognition Converter Error
610	Out Of Memory
611	Invalid License
612	Invalid Config
650	No Resource
691	External Command Fatal
692	External Command Error
693	External Command Warn

## 音声認識ユーザ辞書更新

### リクエストの内容を確認してください

以下のエラーが発生した場合は、記載された対処をした上でリクエストをやり直してください。

code	message	detail	対処
410	Invalid Parameter	List is null	表記・読みを記述してください。
410	Invalid Parameter	List Exceed 5000 lines	追加単語を5000行以下で指定してください。
410	Invalid Parameter	Required HYOKI	表記を記述してください。
410	Invalid Parameter	Required YOMI	読みを記述してください。
410	Invalid Parameter	Invalid domainid	ASR Domain idを確認してください。
410	Invalid Parameter	Invalid Model Name	モデル名を確認してください。
410	Invalid Parameter	List validation failed. Unknown word weight value X	重みをMで指定してください。
410	Invalid Parameter	ユーザ辞書追加リストの 単語名が長すぎる	表記を251byte以下で指定してください。
410	Invalid Parameter	ユーザ辞書リストの読み が長すぎる	読みを255byte以下で指定してください。
410	Invalid Parameter	単語追加の設定失敗	単語追加の設定失敗。表記・読みが正しく指定されているか確認してください。

## お問い合わせください

以下のエラーが発生した場合は、ご契約者様お問い合わせよりお問い合わせください。

code	message	detail
410	Invalid Parameter	Upload Error
410	Invalid Parameter	Download Error
600	Internal Error	-